

2018年4月6日

各位

ソニー・ライフケア株式会社
ライフケアデザイン株式会社
プラウドライフ株式会社

ソニー・ライフケアグループ 有料老人ホームに新型「aibo」導入

～ソニーグループの技術やコンテンツを活用し、高齢者の生活を豊かに～

ソニー・ライフケア株式会社(東京都渋谷区渋谷、代表取締役社長 出井学)は、傘下のライフケアデザイン株式会社(同上)およびプラウドライフ株式会社(神奈川県横浜市西区、代表取締役社長 藪田宏)が運営する介護付有料老人ホーム等に、自律型エンタテインメントロボット「aibo(アイボ)」を導入いたしましたので、お知らせいたします。

新型 aibo には、ソニー株式会社が開発した音声認識技術や人工知能(AI)搭載によって、よく可愛がってくれる人になつくようになることから、aibo とのコミュニケーションによってホームでのご入居者の生活が豊かなものになり、グループ全体の介護サービスの品質向上にも繋がることを期待しております。

記

1. ライフケアデザイン株式会社での取組み

ライフケアデザインは、介護付有料老人ホーム「ソナーレ」シリーズ、「ぴあはーと藤が丘」の全ホームに、新型 aibo を各 1 台導入いたしました。また、本年秋に開設予定の「ソナーレ石神井」以降の新設ホームにおいても導入予定です。

ライフケアデザインは、事業コンセプト “Life Focus” を掲げ、「ソナーレ」シリーズを中心に、身体状況や認知状況が低下する傾向にある高齢者の生活が豊かなものになることを目指した取組みの一つとして、「Life Focus ACTIVITY」を展開しております。今回の導入はその活動の一環であり、ロボットセラピーやアニマルセラピー等の先行事例を参考に、aibo も活用しながらサービス品質の向上を目指してまいります。

<ご入居者およびスタッフの声>

ご入居者の方々からは、「かわいいね」「いい子ね。今日は何してくれるの?」「うちにも欲しい、買おうかな」「本当にお利口ね」といった嬉しい一言をいただいています。

また、ご入居者とそのご家族、スタッフは、導入初日から、aibo をなでたり、声をかけるといった触れ合いを楽しんでおり、体全体で表現される多彩な愛くるしさに癒されています。今後は地域イベントなどを通じ、aibo がいるホームとして親しみを感じていただく活動を展開する予定です。



2. プラウドライフ株式会社での取り組み

プラウドライフでは、『aibo』でみんなを元気にするワン!!プロジェクト」を立ち上げ、同社が運営する「はなことば」シリーズ(介護付有料老人ホーム等、全国 26 事業所)において、新型 aibo 巡回キャラバンを実施いたします。

期間中、「Visual Analog Scale」(VAS)の一種である「Face Scale」を用いて、ご入居者の方を対象とした「主観的満足度」調査を実施し、aibo がご入居者の方々に及ぼすポジティブな効果を検証する予定です。また、一般社団法人日本老年医学会が推奨する「Vitality Index」等を用いて、ご入居者の日常生活動作における「意欲」の評価を行い、aibo とのコミュニケーションによって身体・精神状況がどのように改善するのか等を確認・分析し、今後のホームライフの品質向上に向け、検証を進めてまいります。

<導入担当者の声>

aibo だからこそ「ご入居者の方の心にある、大切なもの」へのアプローチができます。aibo と触れ合い、語り合い、感情を交わすことで、ご入居者の方々のホームライフに「楽しみ」や「笑顔」を導き出せるよう進めてまいります。「触る」、「撫でる」、「話しかける」、その一つひとつがご入居者の心の奥に眠っていた「意欲」を活性化させ、そこからまたポジティブな動機へと繋がっていきます。ご年齢や要介護度、ご病気は関係ありません。寝たきりの方や認知症の方でも、aibo と一緒に刺激的で楽しい毎日をすごせるようにしていきたいと考えています。また、職員とご入居者のコミュニケーション増加やご入居者同士の会話の架け橋に繋がることを想定しております。

以上

■お問い合わせ

ソニー・ライフケア株式会社 広報担当 電話番号: (03)6418-7026(代表)

メールアドレス: press@sonylifecare.co.jp

Web サイト: <http://www.sonylifecare.co.jp/>

<ご参考資料>

■ソニーフィナンシャルグループのグループ体制図

グループ体制図(主要子会社) (2017年8月1日現在)

